

電磁界の安全性確保に関する研究

牛山明、櫻田尚樹（共同研究：大谷真、服部研之、石井一行（明治薬科大学））

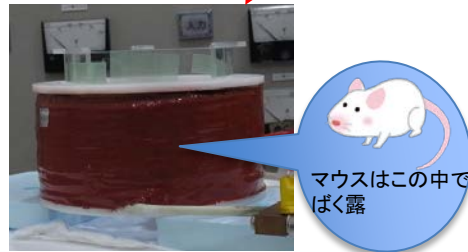
電磁波により電力を送る無線電力電送という技術が実用化されつつあります。これらの装置から発生する電磁界の安全性の科学的根拠を収集するための研究を進めています。



電気自動車の充電で用いられる85キロヘルツ前後の磁界を用い、国際ガイドライン※で許容されている基本制限値程度の強さをマウスにばく露した際の影響を明らかにする。
エンドポイントとして以下の指標を考える。

- ・血液指標
- ・酸化ストレスマーカー
- ・行動影響
- ・網羅的遺伝子発現解析

等



動物実験用に開発したばく露装置



安全・安心な生活環境の構築

※わが国では国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）と総務省電波防護指針で同じ規制値を採用している。